新　刊

□村田　源：**近畿地方植物誌**　257 pp. 2005. ￥3,400＋￥340（送料）. B5版. 大阪自然史センター. ISBN: 4-902883-00-7.

1954年から延々45回，50年にわたって兵庫生物，近畿植物同好会誌に連載されたものが，一冊にまとめられた．別刷の整理の悪い私などには大変ありがたい．種の一連番号がつけられており，全部で2587を数える．標本にもとづいて産地が列記されているので，県単位の植物誌が出そろっているわけではないこの地域の植物を総覧するのに，大変有用である．近畿地方の絶滅危惧種の検討に本書が用いられたというのもうなずける．巻末に正誤表，和名索引，2004年版近畿地方植物分布図文献目録，それに対する植物名索引がある．また巻頭に，近畿地方の植物分布概説が再録されている．本書の内容のほとんどは複製品であるので，引用に当たっては初出を表示するよう，注意されている．巻頭に村田氏の手になるユキワリイチゲの図があるが，作者はG. Nakaiとなっていて，知らない人は首をひねるかもしれない．本書の入手には大阪自然史センター（郵便振替00980-1-317961）へ送金されたい．複数部の場合はTel. 06-6697-6262同センター（大阪市立自然史博物館内）へ問い合わせること．（金井弘夫）

□大場秀章・五百川　裕：**ヒマラヤに花を追う**　254 pp. 2005. ￥1,800. B5版. 八坂書房. ISBN: 4-89694-821-7.

中部ネパール北端のムスタン地域は，これまで立入禁止だったが，近年ようやく入域が認められるようになった．もっとも，最近は政情不安のため，いつ閉鎖されるかわからない．本書は1999年から五年にわたって行われたムスタン地域植物調査の記録である．大部分は五百川氏の手になる，日程に沿った調査旅行・植物観察記である．二昔以前のことしか知らない私には，ずいぶん便利になったものだと思う．日本から直行便が飛び，向こうへ着けば数日で旅行許可が取れ，トレッキングの装備やシェルパは難なく調達される．それに5年間，毎年顔ぶれを変えて調査に出かけられる人材がいる．大場氏をはじめヒマラヤ植物研究会の積み上げた実績である．スポンサーとなった緑育成財団の援助も見逃せない．一財団の援助で5年間も調査を続けられることは，そうはないだろう．

ポカラの西北，ジョモソンから出発して，次第に足を延ばして行くが，途中の景観と植生の関係が，丹念な観察によって記述されていて，景色が目に浮かぶようだ．これに加えて，植物名がたくさん記されている．この調査は「ネパール・ムスタン地域花卉資源調査発掘事業」と銘打つものだから当然だろう．ただヒマラヤの植物には和名の無いものが多いから，学名の片仮名読みが並んでいて，知らない人にはちょっとうっとうしいかもしれない．もっとも最近はガーデニングブームだから，属名で大体の見当をつけられる人も多くなったことだろう．巻末に学名つきの索引が用意されている．最後に大場氏が「ヒマラヤ・ムスタンの花にかける夢」と題して，ヒマラヤ植物調査の歴史と意義，それにムスタン植物誌の展望を述べている．グレート・ヒマラヤの北側，チベットへ続く乾燥地帯の調査が，さらに発展することを期待したい．

（金井弘夫）

第80巻2号　正誤　Erratum in Vol. 80 No. 2

頁（*Page*）	行（*Line*）	誤（*For*）	正（*Read*）
Inside front cover	↓3	S. Watan,	S. Watan.,